

1. はじめに

今年の12月は例年と比べるとかなり暖かいようだ。それでも月末になると雪が降り始め、気温もマイナスが当然の寒さであった。12月のビッグイベントであるクリスマスが近づくにつれて、キャンパス内はイルミネーションでライトアップされたり、寮内はクリスマスの飾りつけでいっぱいになったり、また、何人かの生徒はサンタクロースの帽子を被って授業に参加している。アメリカらしい学校の様子や授業の雰囲気だと感じた。クリスマスはアメリカにとって大きなイベントであることがうかがえた。月末から年始にかけて冬休みがあり、ルームメイトの家にお邪魔させてもらった。

2. 生活

2.1. 授業

冬学期は以下の三つを履修している。

2.1.1 Listening and Speaking

秋学期も履修したが冬学期も続けて履修している。簡単なプレゼンテーションが二つあった。1つ目は数学に関するプレゼンテーションである。ある問題について英語で回答を説明するというプレゼンテーションだ。問題自体はかなり簡単な内容で小学生か中学生のレベルではあるが、英語で説明となるとやはり難しかった。2つ目はクリスマスに関するプレゼンテーションである。各生徒は、世界のさまざまな国や地域が割り当てられ、その国や地域のクリスマスの文化や特徴についてプレゼンテーションするものだ。私はアジア地域のクリスマスについて割り当てられたので、日本と中国のクリスマスの習慣について発表した。聴衆者である生徒は中国人がほとんどだったので、発表に対する反応がよく、満足のいく発表だったと感じた。

ある日の授業ではクリスマスらしい授業が行われた。アメリカでは「クリスマスの香り」がある。それは人や家庭によってそれぞれ違うが、例えば、クリスマスツリーやシナモンアップル、ナツメグ、クッキー、バニラ等がたくさんある。日本ではクリスマスと聞いて思い出される香りを考えたこともなかったが、アメリカでは香りを感じる慣習があるようだ。授業内では、目隠しした生徒がそのクリスマスの香りを当てるという簡単なゲームを行った。その様子を以下の写真に示す。この Listening and Speaking の授業は、リスニングやスピーキングを勉強する事以外にも、アメリカの伝統行事やそれについての慣習等を教えてくれるので、そういった意味でもたくさんの事が学べる。秋学期で言うとハロウィーンや Thanksgiving day、冬学期はクリスマスとハヌカー(Hanukkah)等が例として挙げられる。



授業で香りを楽しむ生徒の様子

2.1.2 Japanese Society

この授業は日本の事について過去のことから現代のことまで、あらゆる分野について学んでいる。世界大戦や核家族、戸籍、宗教、少子高齢化問題、お弁当、オタク、引きこもり等、1ヵ月の間にたくさんのことを学んだ。日本ならではの文化や習慣、生活をいろんな角度からみることで、日本人の視点では絶対に気づかないそれらを知ることができる。宿題について、信じられないくらいの大量の記事を読まなければならない。その記事について週に1回ディスカッションの時間があるからだ。しかし、その記事もまた、日本の独自性を感じさせる記事なので学ぶことはある。さらに、先生がとてもユニークな先生で、授業の雰囲気もよい。この科目はこれまで受けてきた科目の中で一番面白いと感じている。内容自体が日本の内容なので理解しやすいので、来年度の派遣留学生にも是非おすすめしたい科目のひとつである。

2.1.3 General Chemistry I

この授業はかなり基本的な化学の内容を学んでいる。バイオの分野と少し離れることになるが、内容自体は高校生の内容なのでなんとか理解はできている。周期表の物質、イオンや化合物などの英語名を覚えることに相当苦勞した。始めはそれらを覚えていなかったもので、テストの問題すら読むことができなかつたが、今は覚えて何とか問題に答えることができている。今月は化学反応式やモル濃度の計算、ボイルシャルルの法則等を学んだ。また週に1回実験がある。本来は2人1組のペアワークだが、先生にお願いして私のグループだけ3人にしてもらった。実験の様子を以下の写真に示す。これは中和滴定の実験の最中である。



中和滴定の様子

2.2. クリスマスの様子と冬休み

冒頭にも述べたように、クリスマスならではのイベントが開催されたり装飾が施されたりした。寮のロビーでは小さなパーティとクリスマスプレゼント交換が行われた。プレゼント交換は事前に参加希望の申し出をしないとイケない。私はそれをしていなかったもので、パーティだけ参加してその場の雰囲気を楽しんだ。プレゼント交換も参加すれば良かったと後悔している。しかし、ローズハルマン生全体の大きなパーティがあり、友達が誘ってくれたのでそれには参加することができた。そこにはたくさんの飲物や音楽を流してダンスしている生徒がいて、かなり賑やかなパーティであった。それらの様子を以下の写真に示す。



寮学生がプレゼント交換する様子



クリスマス仕様に飾られた寮のロビー



ローズの学生で集まるクリスマスパーティ

冬休み期間の年末年始は、ルームメイトの家にお邪魔させてもらった。今回で2回目の訪問である。クリスマス日にはクリスマスツリーの飾りつけを一緒にしたり、夕食を家族に交じて楽しんだりした。また、ルームメイトの家族から、手袋や洋服、お菓子等のプレゼントまで頂いた。私からは、日本のクッキーとお茶と抹茶カステラを、メッセージカードを添えてプレゼントした。プレゼントはツリーの下に並べるのが一般的だ。飾りつけしたクリスマスツリーを以下の写真に示す。



飾りつけしたクリスマスツリー

プレゼント交換の時私が驚いたことは、兄弟同士や子供から親へプレゼントを贈っていたことだ。アメリカでは、高校生くらいから親へもクリスマスプレゼントを贈るようだ。そのため一人に対するクリスマスプレゼントの数はとても多い。日本では、子供から親へプレゼントを贈る家庭はそう多くないだろう。少なくとも私は、親へクリスマスプレゼントを贈ることが無かったので、来年のクリスマスは感謝の気持ちも込めてサプライズしてみたいと思った。また、2度も歓迎してくれたルームメイトの家族へ、カレーライスで感謝の気持ちを込めて作った。普段料理をすることがないので、味に自信はなかったが喜んで食べてくれた。レシピを教えて欲しいと言われた時は、本当に美味しく食べてくれたのだと実感でき嬉しかった。

3. 研究

「アメリカの食生活と栄養バランス」

毎食の食事の際、何をどれだけの量の食事をしているか調査するために、アメリカ人の友達4人に食べる前に食事内容を写真に撮ることをお願いしたが、撮ることを忘れる人がほとんどで情報が集まらなかった。休み明けは、引き続きその4人と他の友達にも協力してもらえるようお願いしてみる。また、アンケートも引き続き行う。残りの滞在時間が少なくなってきたので急いで取り組んでいく。

4. おわりに

アメリカ生活も残すところ約1ヵ月となった。時間を無駄にせず、後悔のない1ヵ月を送る。残りの1ヵ月でしたいことは、これまで寮の人とご飯を食べることが少なかったので一緒にご飯を食べたい。また、途中から課題の忙しさを理由にクラブ活動に参加しなくなったので、できるだけ参加したい。時間の使い方を改善したら、クラブに行ける時間は作れたと後悔している。体調不良になることもなさそうなので、後は精一杯勉強して精一杯楽しみたい。